

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月27日

事業所名 鳥取県立中部療育園

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				契約児全員(プラス保護者)が集まるとスペースに余裕がないため、利用が増えたり重なった時、活動内容を考慮し、スペースの使い方を検討します。
	2	職員の配置数は適切である	○			職員のマンパワーをベースに臨機応変に対応している。	適正な人員配置になるよう、随時主管課に要望を続けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			車いすのバギー等を利用している児も、活動参加しやすいよう環境を整えている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年2回、保護者との意見交換を行い、いただいた「声」を事業につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			2年に1回、第三者評価を受けている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者のニーズを聞き取り、ご本人の様子によってサービスを計画している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・活動時の様子だけでなく保護者や関係者からの情報収集を行い、子どもの適応行動の状況を把握している。 ・児の体調等を考慮し、必要に応じて外来などで対応している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・年2回個別支援計画書を見直し、改善している。 ・関わりのある多職種の意見を反映し活動のプログラムを立てている。	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			計画書の見直し、打合せ、準備、振り返り等を実施している。 個々に合わせた活動プログラムを計画している。	重症心身障害児であることを配慮して基本軸となるアプローチを含め、一貫した対応を意図的に行っている側面もある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		地域のサービスも併用されているので、聞き取りをして必要な支援を計画している。 長期休暇の際は、保護者の意向を踏まえ決めるようにしている。	長期休暇に「特化」した対応は行っていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			児のニーズに沿うよう意図的に個別での活動を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			電子カルテに記録し、他職員とも共有している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			年2回個別支援計画の見直し、モニタリング、支援内容の変更改善をしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校や家庭での様子を保護者や関係者から聞き取り、支援を計画している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			必要に応じて主治医と連携を取っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて関係機関と連携を取り、情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			支援会議等に参加して、情報提供、共有をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	感染等を考慮し、現在は行っていない。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			来園の際に聞き取りを行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時、または契約内容変更時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者同士のお話を活動時間の中で再開した。	
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			第三者委員による苦情受付の体制を整備し、園内に掲示し保護者に周知している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			利用希望票を毎月配送しているのに合わせて、行事や意見交換会のお知らせ等している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			職員に対して個人情報に係る職場研修を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域療育セミナーを実施している。	事業の性質上、行事は行っておらず、個別活動を中心としている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年1回避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				食事提供していない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット事例は適宜回覧し、職員間で共有している。	